

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2008年4～6月期)

第49回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成20年1～3月との比較）
 - （2）前年同期比（平成19年4～6月との比較）
 - （3）来期見通し（平成20年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	155社
回答率	31.0%
(業種別)	
製造業	55社
建設業	31社
卸売業	13社
小売業	26社
サービス業	30社
合計	155社

(2) 実施時期

平成20年4～6月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 ") - (悪化 ")

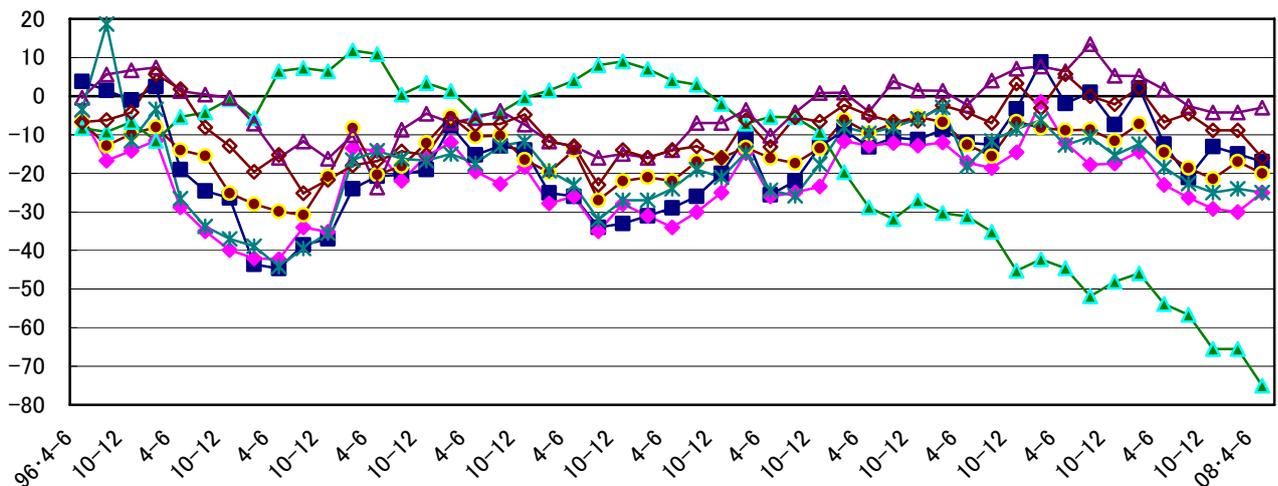
資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")

業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D I の推移)

	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6
■売上	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4
◆採算	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5
●資金繰り	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0
▲仕入価格	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8
△雇用状況	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2
◇設備投資	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5
*業況	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2

3. 概況

「原材料高騰・需要低迷で全業種において厳しい状況」

(1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前年同期比で「売上」、「仕入価格」、「設備投資」、「業況」が悪化となり、前期比で「売上」、「採算」、「資金繰り」、「仕入価格」、「雇用状況」、「設備投資」、「業況」の全ての項目で悪化となった。サービス業では、前回調査での前年同期比「売上D I」プラスからマイナスに転じた。依然として続く原油・原材料の高騰による仕入価格の上昇、更には需要の低迷による買い控えで、全業種において経営環境は厳しい状況となっている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、ややマイナス幅を縮小したものの、依然厳しい数値となった。

業種別では、製造業で、一部需要期による季節的要因に期待されるものの、建設業では受注競争の激化による完成工事高の減少、卸・小売業では仕入価格の上昇と消費の低迷、サービス業では運送関連で燃料高騰によるコスト増、観光関連では消費マインドの低下による旅行控えが不安視される。全業種において原油高騰に伴う「仕入価格」の上昇が最も不安材料となっている。

(3) 経営上の問題点

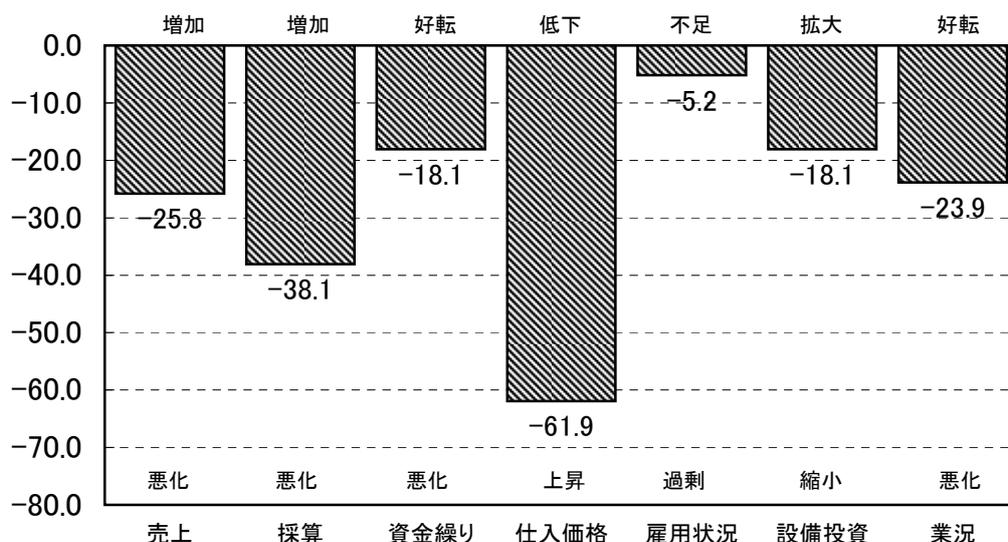
今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「原材料（仕入単価）価格の上昇」、2位に「需要の停滞」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続いた。

(4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」となり、新たに「新製品の開発を行ないたい」が3位と続いた。

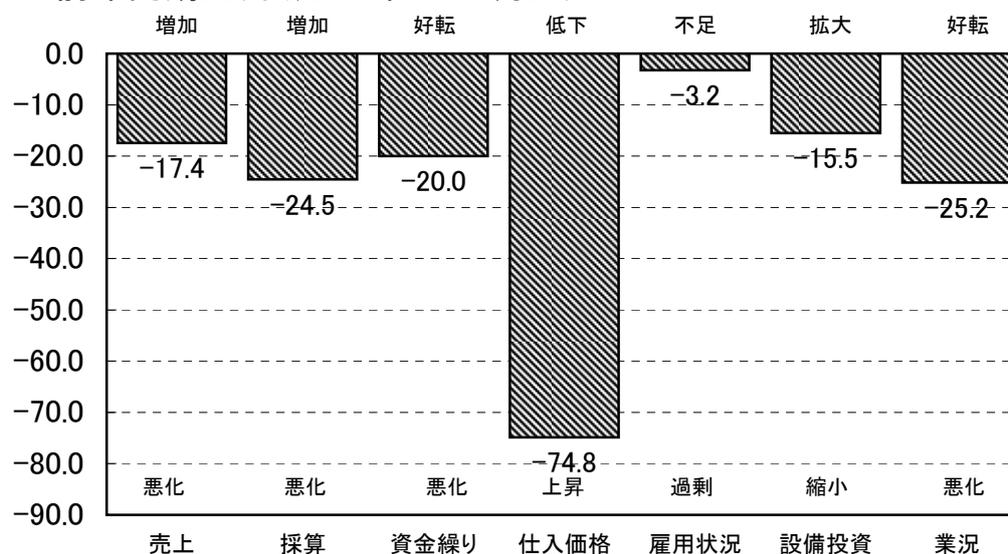
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成20年1～3月比)



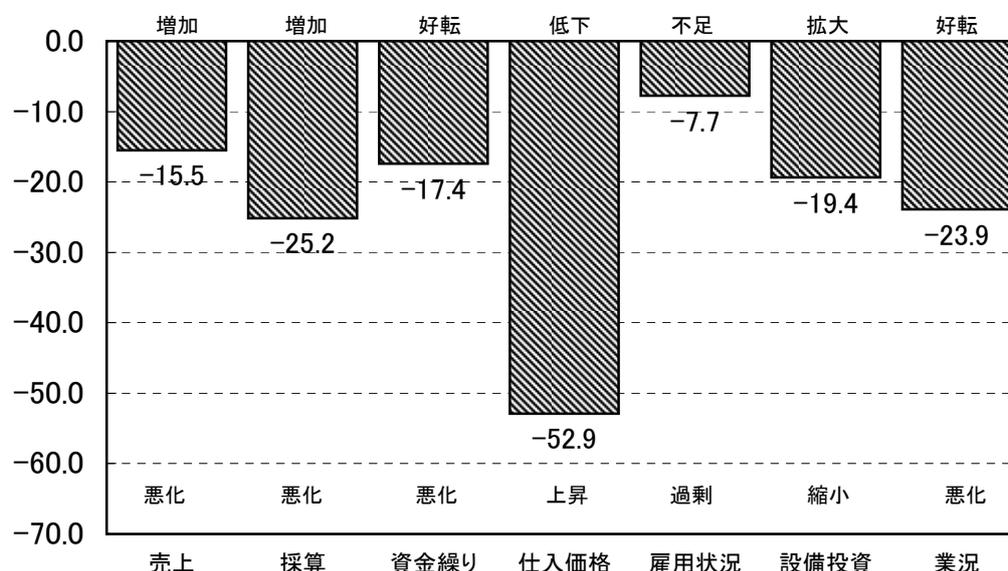
前期比D Iは、前回調査と比べて悪化となった。卸売業では、一部新年度需要等があったものの、原材料高騰に伴う仕入価格の上昇による採算悪化、消費低迷による売上減少で厳しい業況となっている。

前年同期比(平成19年4～6月比)



前年同期比D Iは、前回調査とほぼ同数のマイナス数値となり、特にサービス業においてはマイナス値が大幅に拡大した。原材料の高騰における経費の負担増、消費の買い控え等で利益の確保が難しい様相となっている。

来期見通し(平成20年7～9月見通し)

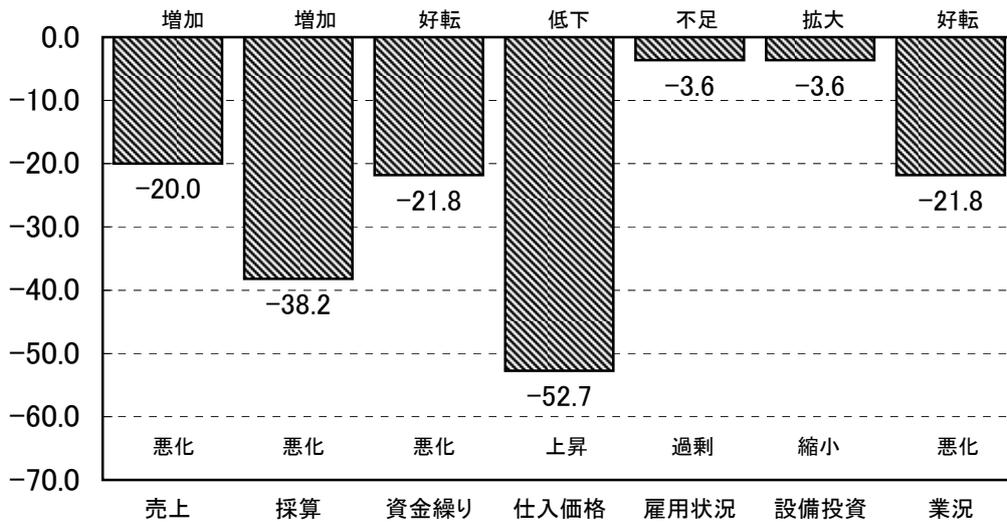


来期見通しD Iは、前回調査よりもややマイナス幅を縮小した。製造業の一部で好転期待の声があるものの、全業種で原材料の高騰による仕入価格の上昇と売上減少が懸念され、先行きは依然不透明となっている。

5. 業種別の景気動向

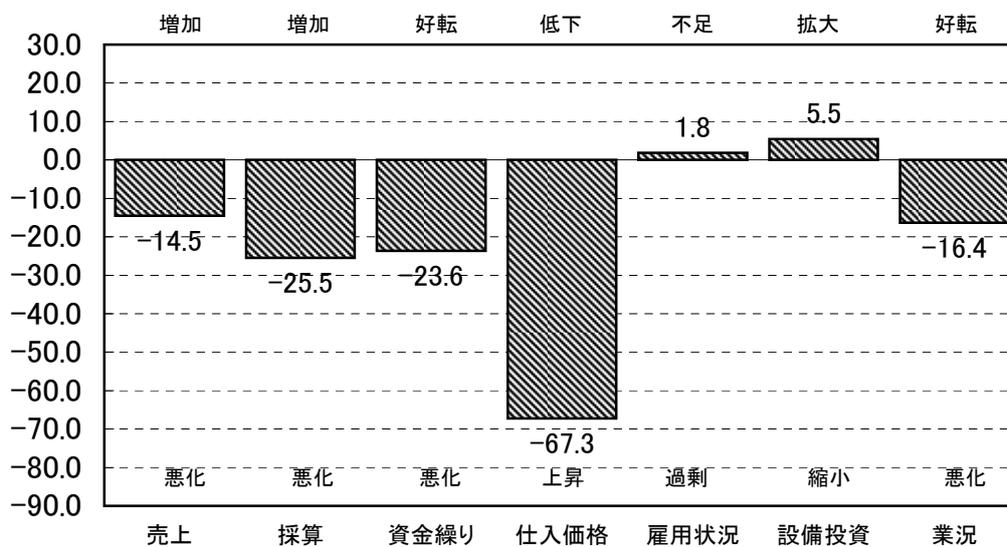
(1) 製造業

前期比(平成20年1～3月比)



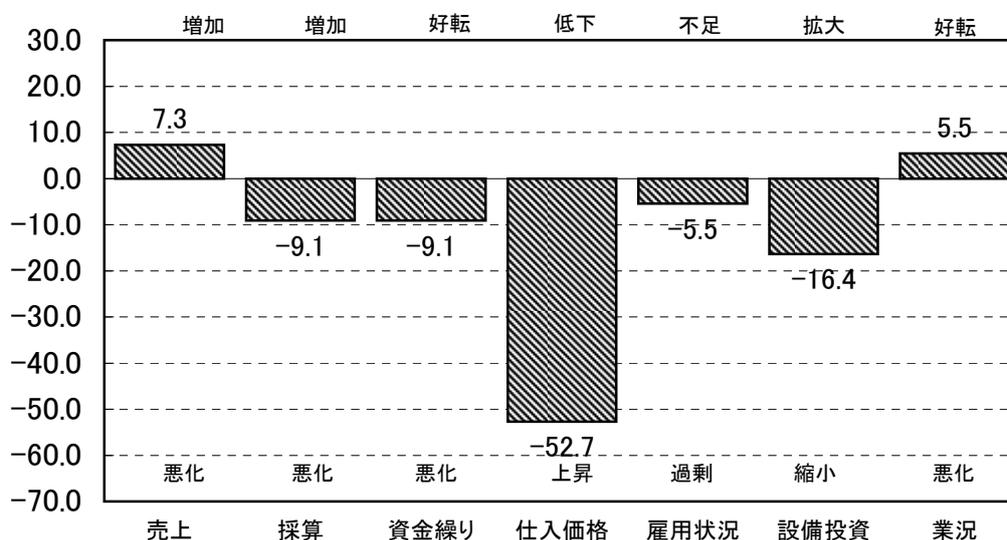
前期比D Iは、大幅にマイナスとなった。年度末需要の反動による受注件数・金額の減少に加え、原油価格の更なる高騰による影響で資材等の仕入価格が上昇している。また、売上単価も悪化しており厳しい経営環境となっている。

前年同期比(平成19年4～6月比)



前年同期比D Iは、マイナス幅が拡大した。「原材料、仕入価格の高騰」(アルミ製品製造、都市ガス製造、金属製品製造)、「輸出の減少」(casting 機械加工)等の悪化要因が増加し、業況は依然として厳しい状況である。

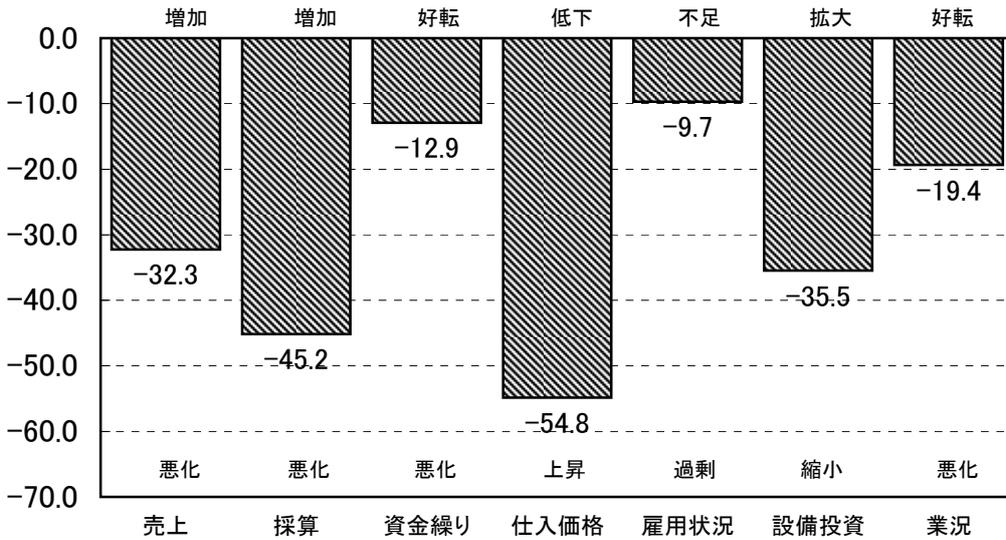
来期見通し(平成20年7～9月見通し)



来期見通しD Iは、「繁忙期の時期」(アルミ製品製造)「毎年10月ごろからは受注が好転してくる」(封筒の製造)、という季節的要因に期待する声などがあり売上、業況D Iはプラスとなった。しかしながら、原料の高騰による仕入価格の上昇は不安視されている。

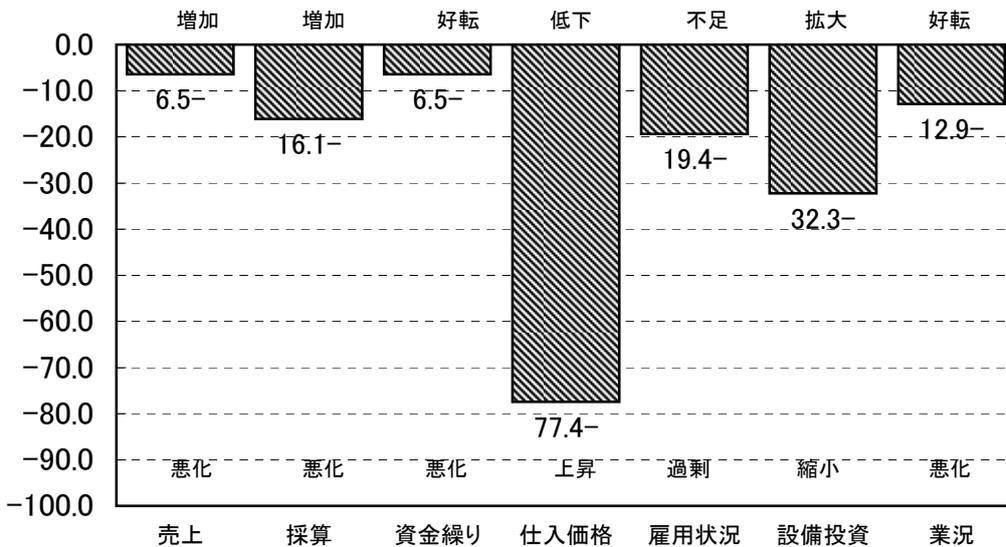
(2) 建設業

前期比(平成20年1～3月比)



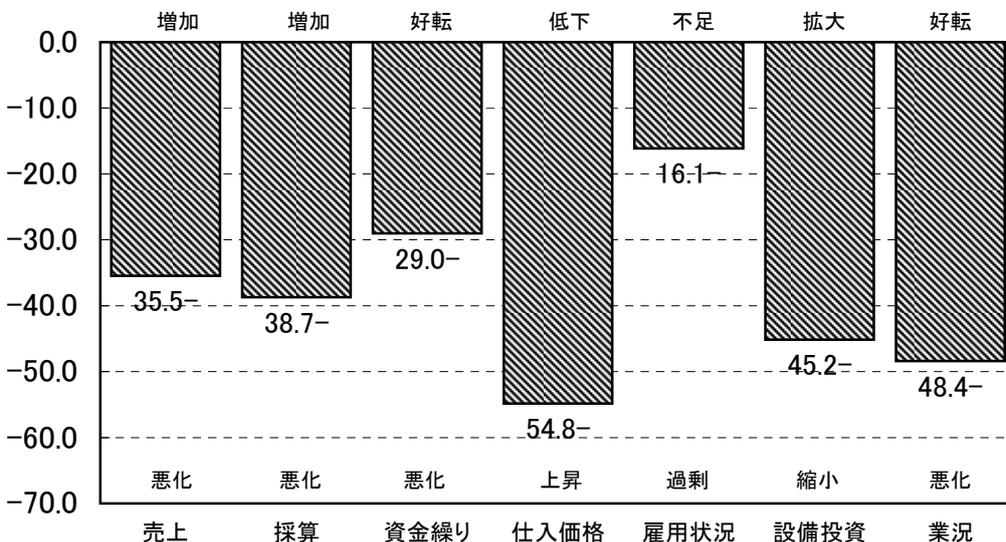
前期比DIは、年度末需要の翌期という季節的要因に加え、原材料の高騰による仕入価格の上昇、受注競争激化による受注単価の下落で売上・採算ともにDI値は悪化となっている。

前年同期比(平成19年4～6月比)



前年同期比DIは、売上・採算・業況のDI値は縮小されたが、原油高騰により材料費が高騰し仕入価格が上昇しており、受注競争の激化による完成工事高の減少で依然として厳しい状況となっている。

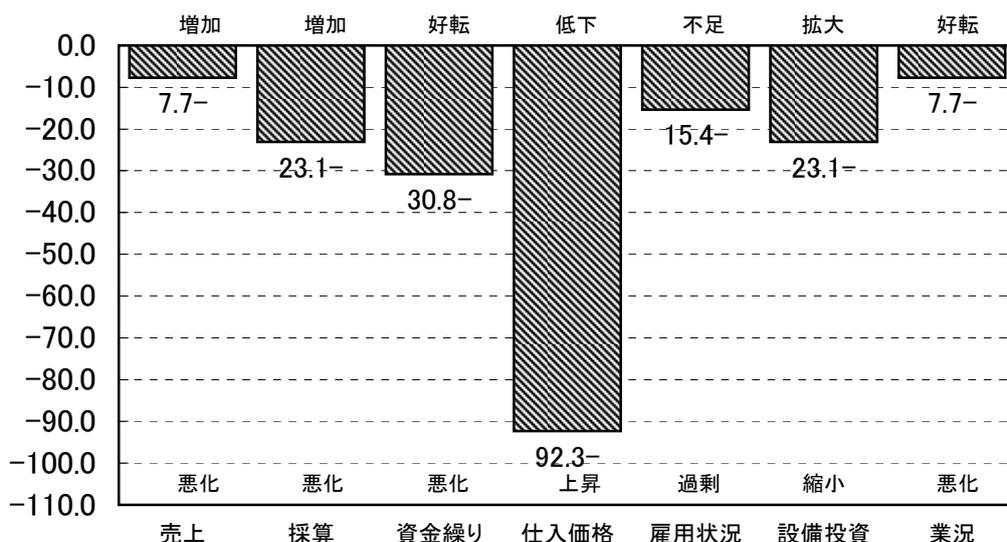
来期見通し(平成20年7～9月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較すると売上・採算・業況のDI値のマイナス幅は若干縮小したものの、公共工事、民間工事共に受注競争激化による完成工事高の減少、材料費高騰による仕入価格の上昇で経営環境は厳しい見通しとなっている。

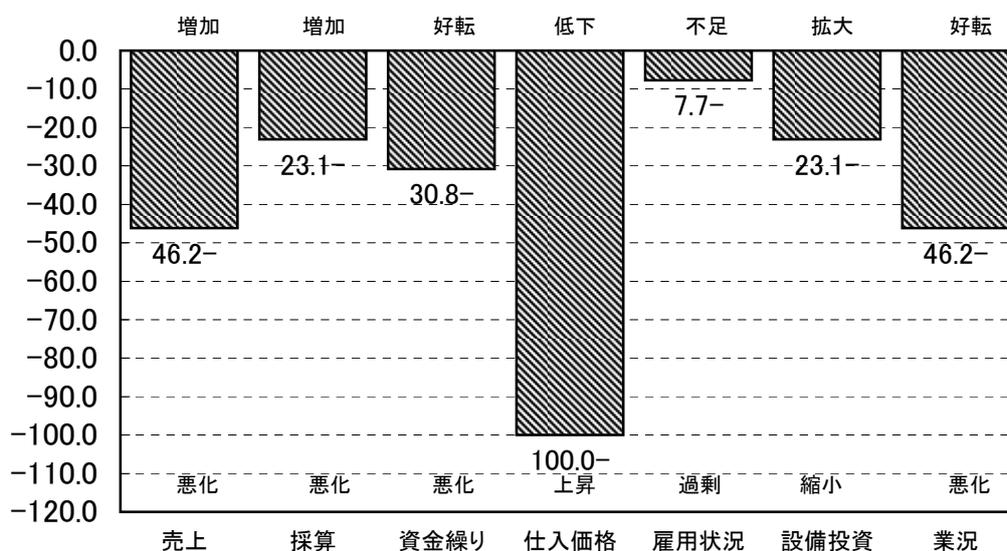
(3) 卸売業

前期比(平成20年1～3月比)



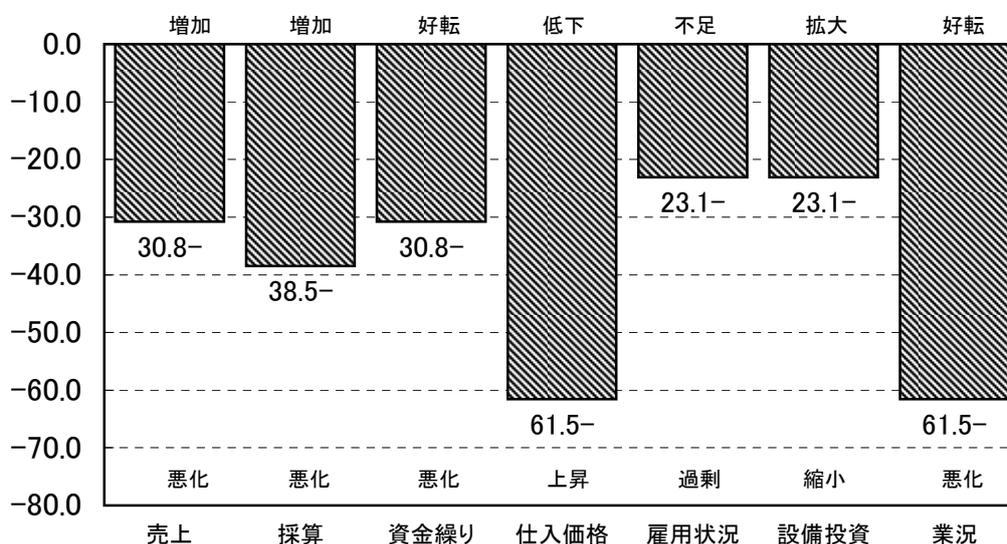
前期比DIは、新年度に入り「年度替り需要」（紙文具事務機）等があり前回調査よりマイナス幅が縮小された。しかしながら原油高騰による仕入価格が大幅に上昇しており、それを販売価格に転嫁出来ていない状況となっている。

前年同期比(平成19年4～6月比)



前年同期比DIは、売上・業況DIは悪化となり、仕入価格DI値は大幅な上昇となった。原油価格の高騰に伴う仕入れ価格の上昇が経営を逼迫しており、厳しい経営環境となっている。

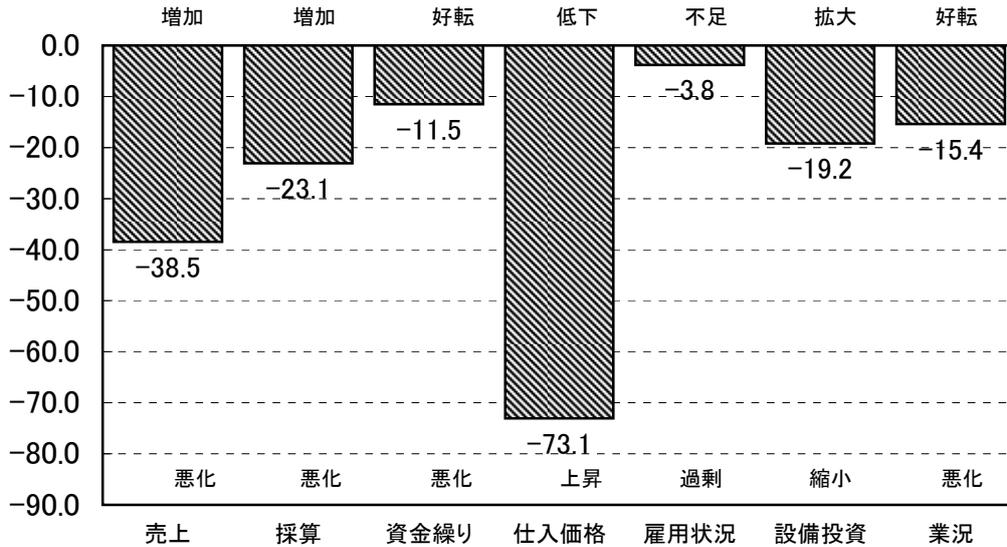
来期見通し(平成20年7～9月見通し)



来期見通しDIは、業況DIが大幅に悪化となっている。「食品の値上りと消費の節約」（業務用食料品）などの声も聞かれ、仕入価格の上昇、消費低迷等の影響による経営悪化が懸念される。

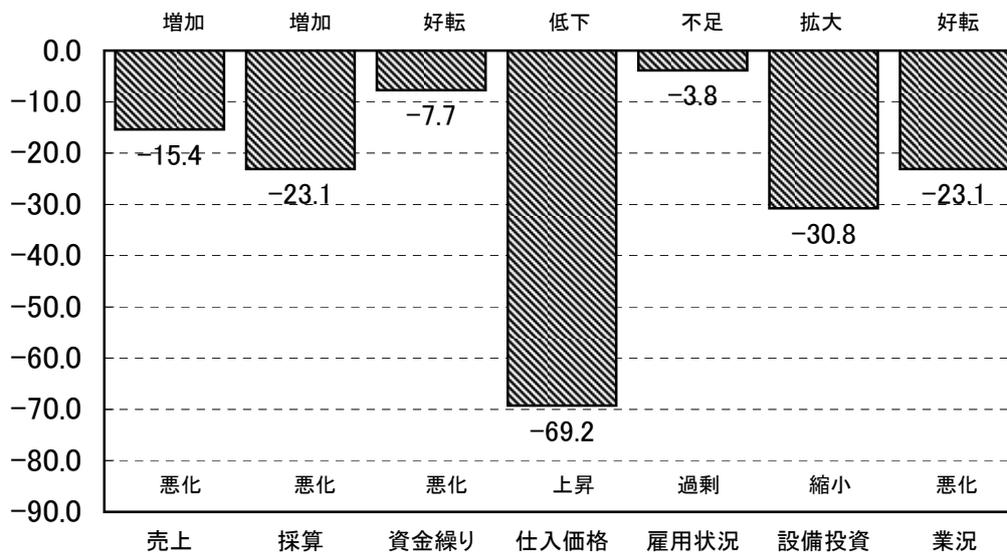
(4) 小売業

前期比(平成20年1~3月比)



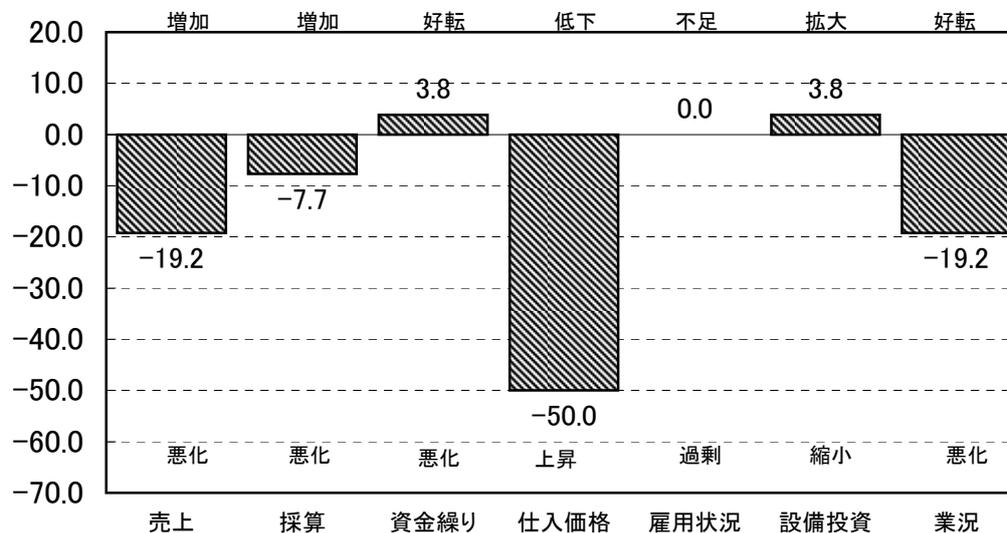
前期比D Iは、売上・利益共にD I値はマイナスとなった。原材料高騰による仕入価格の上昇、燃料高騰に伴う配達コスト上昇による経費増加等の影響により収益悪化となっている

前年同期比(平成19年4~6月比)



前年同期比D Iは売上・採算・業況で、ややマイナス幅が縮小したものの、仕入価格はマイナス幅が拡大した。原油価格の上昇に伴う原材料の高騰、消費マインドの低下による売上単価の下落の影響等で依然として厳しい経営環境は続いている。

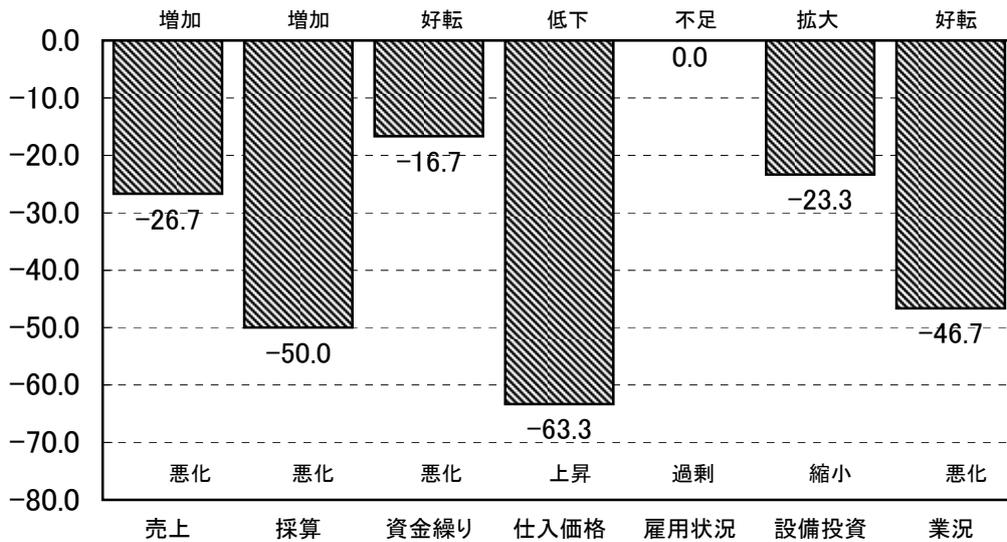
来期見通し(平成20年7~9月見通し)



来期見通しD Iは「相場が良い」(飼料販売)という声もあり、やや改善されているものの、原材料、仕入価格上昇に伴う採算悪化の懸念は払拭出来ず、先行きは厳しい見通しとなっている。

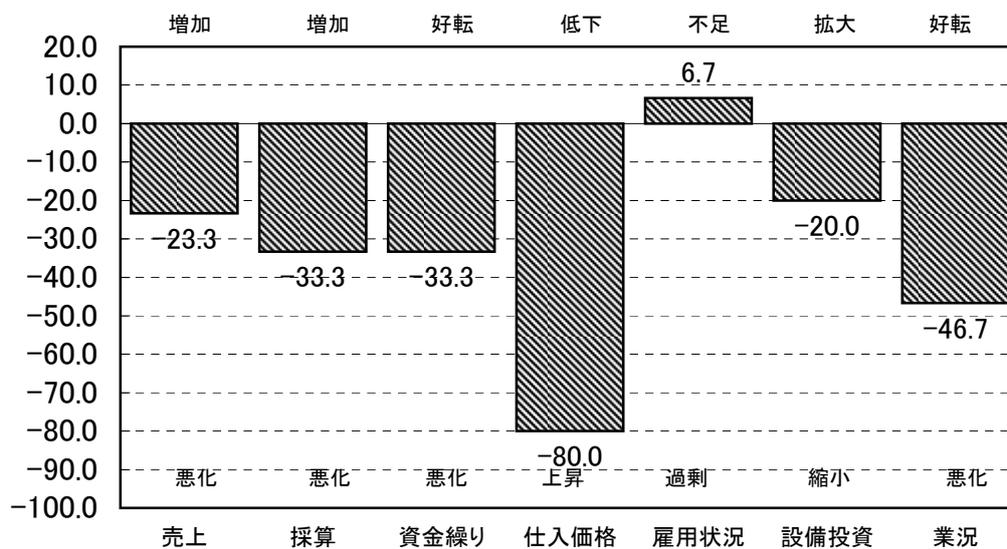
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成20年1~3月比)



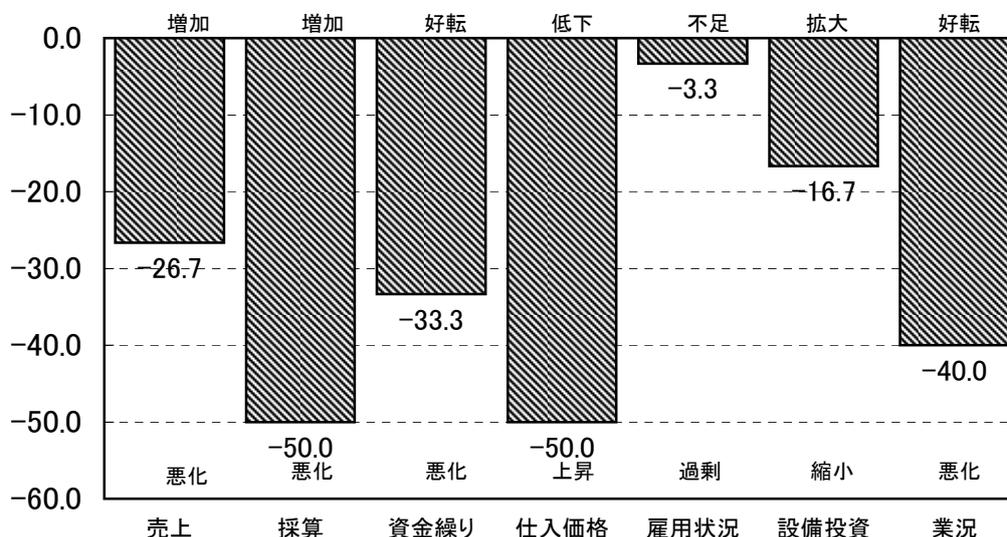
前期比D Iは売上・採算・業況共にマイナス幅を拡大した。運送関連ではガソリン価格の高騰、飲食関連では材料費、光熱費の値上り、宿泊関連では消費低迷による旅行控えなど業況は益々厳しさを増している。

前年同期比(平成19年4~6月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較してマイナス幅が大幅に拡大した。「原油高騰分を価格転嫁出来ない」(運送)、「旅行志向が減退」(宿泊)、「灯油が前年の2倍」などの声があり、経費増による採算確保が厳しくなっている。

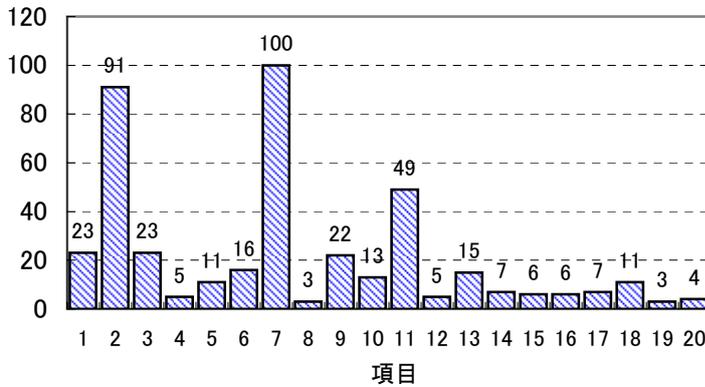
来期見通し(平成20年7~9月見通し)



来期見通しD Iは、売上・業況は、前回調査とほぼ同数の数値となったが採算は悪化となった。原油高によるコスト増、物価高に伴う消費マインドの低下が不安視される場所である。

6. 経営上の問題点

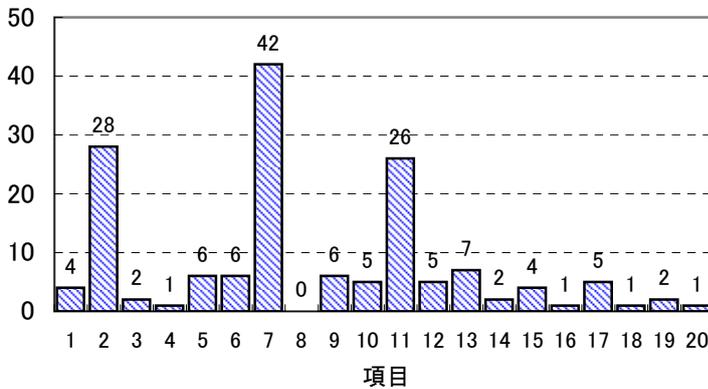
全業種



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

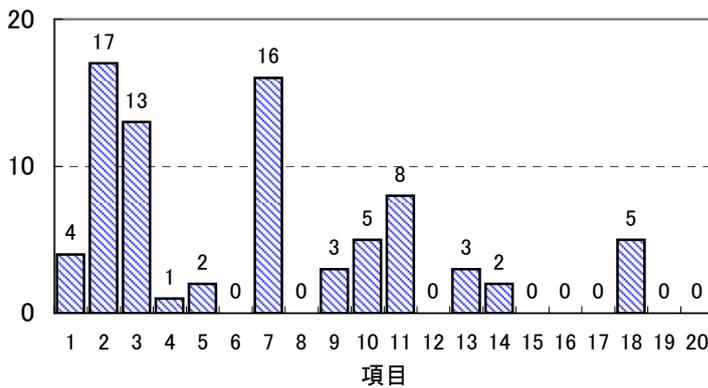
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



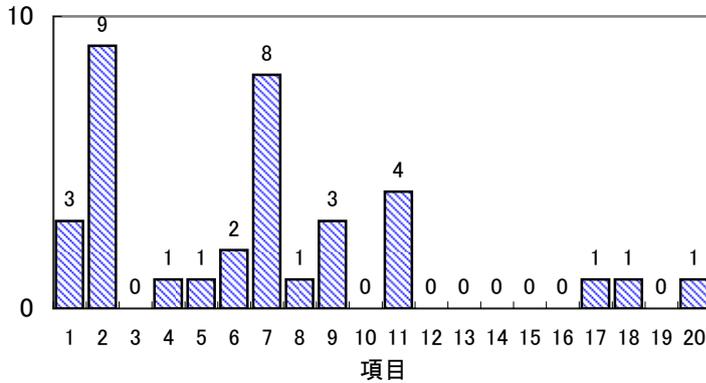
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 人件費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

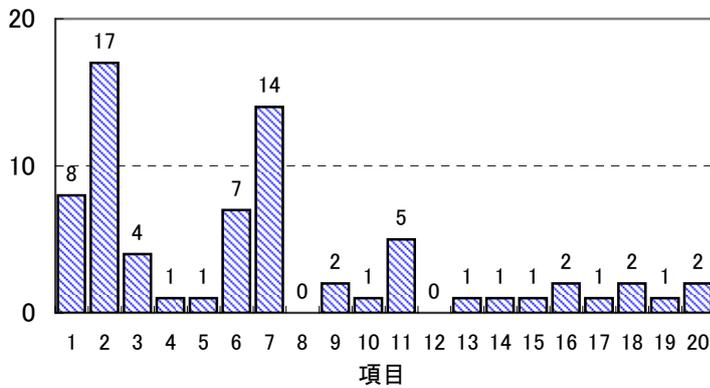
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

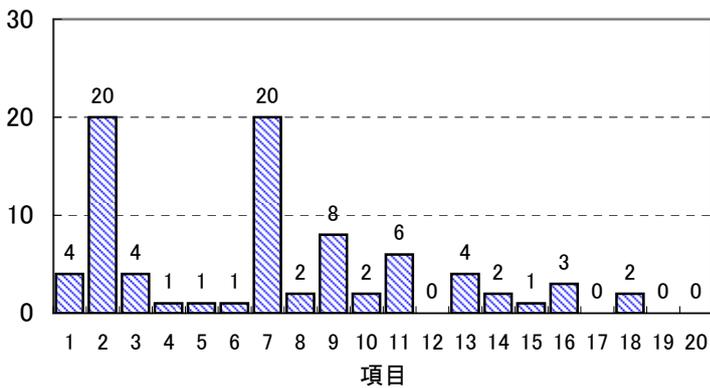
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

サービス業



順位

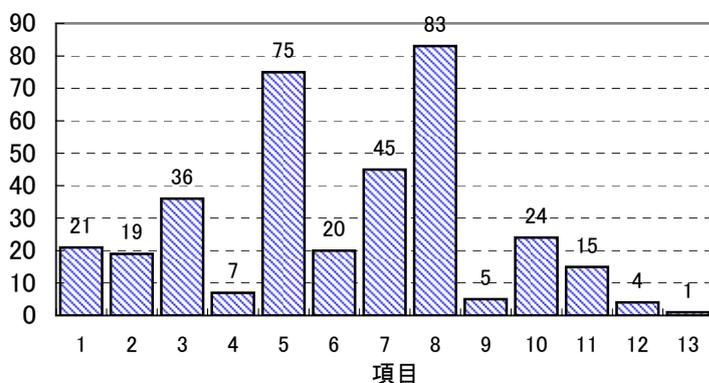
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

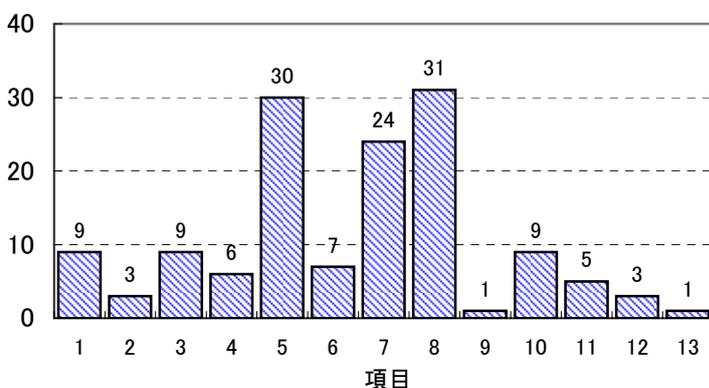
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

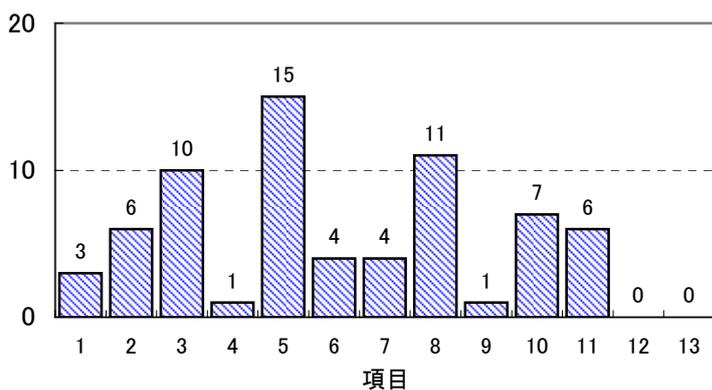
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 人件費を削減したい

建設業



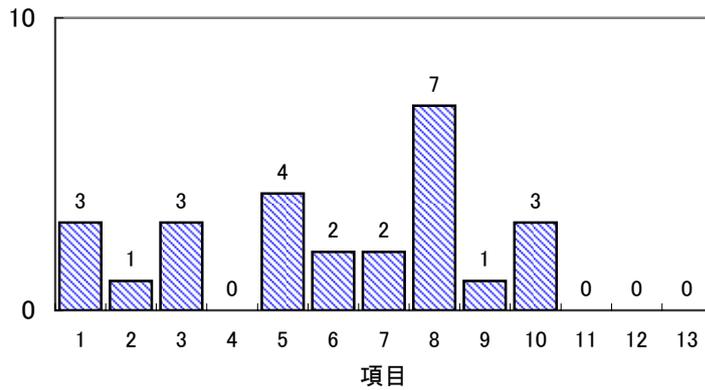
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

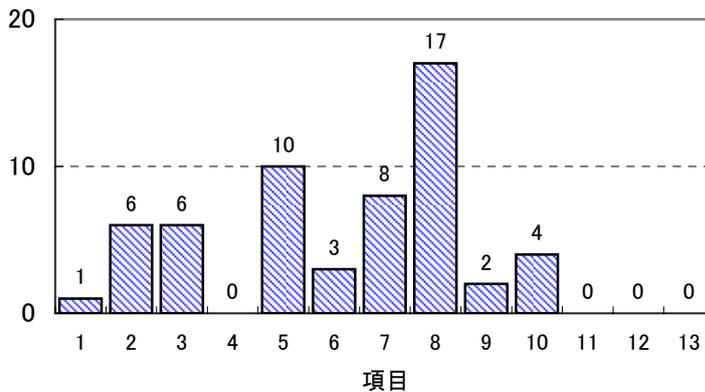
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

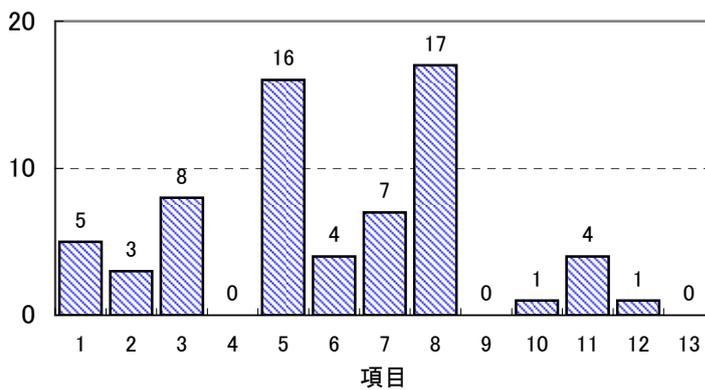
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	アルミ製品製造業	都城	行政に期待したらだめが実感です。
製造業	電気機器製造	宮崎	行政の方針を「インフラ」「企業誘致」など個別のカテゴリ毎に示すのではなく一貫した流れで見える様にして欲しい。※中小企業は活用出来ず、大企業、県外企業が優位性を発揮する場面が多い。
製造業	都市ガス製造供給販売	宮崎	エネルギーの安定確保に向けての早急な国策を打出し、外交的に国としてイニシアチブを発揮してほしいものです。
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	景気対策(基幹産業・食品関係等の企業誘致)
製造業	印刷業	宮崎	大手建設業の再生となり、宮崎の景気は下方に向かっている。融資にしても、締めつけは大きくなり、悪循環していくと思う。予算的なこともあるだろうが、何か大きな起爆剤が必要ではないか？今の不安を取り除き、上向きにしていけることが出来れば良いのでは？
製造業	金属製品製造業	宮崎	国の景気対策を早急に実施してもらいたい。
製造業	清涼飲料水製造	宮崎	石油等の値上がりで不安定な状況であり、下請、中小企業は非常に厳しい。
製造業	IC製造業	宮崎	原油高の影響による重油コストアップ、電力料の値上げは民間企業の経営を圧迫しています。国・県は税率(ガソリン税等)低減努力をすべきと思います。
製造業	プラスチック金型製造修理	延岡	固定費や原材料の高騰に頭を悩めている。中小企業(特に小企業)が活用できる助成金、補助支援策の充実をお願いしたい。3015
製造業	機械器具製造業	延岡	NHK等で我社の宣伝をして欲しいと思っておりますが無理でしょうか。私は経理の人間ですが、こんなに暑い中、長袖を着用して現場で一生懸命働いている方が多く、その中で”安心した生きた製品を創っている”のは我社だけだと思っております。このような一生懸命働いている力を包装する事こそ、今の日本には必要だと思います。3040
製造業	食品工業	日向	金利(短プラ)のすえおき4042
製造業	自動車専用部品製造	日南	原油高、材料高の影響が出始めている。新規開拓等の施策を実施しないと利益確保が難しい。6013
製造業	製材、集成材	日南	意見を言っても国の対応なし6046
製造業	金属加工業	日南	製造業の動きが非常に悪くなっている。需要の停滞がいつまで続くか予想が付かない。メーカー担当者も不透明がただよっているとのこと特に自動車が多い6101
製造業	焼酎製造販売	串間	原油、原料の「米・麦・芋」急騰。特に重油の高騰が酷い。以前から万が一のとき、備蓄してある石油(90日ある)を30日分位今の市場に放出していただきたい。半ヶ年位はある程度安価な油が利用できると思える。各企業が瀕死の現状なので何とかしていただきたい。
建設業	建築工事業	都城	県内から県外へ流出している人材を地元に戻すための施策を考えて欲しい
建設業	建築工事業	宮崎	建設産業は地方基幹産業雇用の場として地方経済の担い手であったが、建設投資の削減、事業費の大幅な減少、価格競争、昨今の急激な資材の値上り等による経営破たんの企業は後を絶たない。特に本件では本年度に入りけ廃業が立て続けに起こり、さらに経営悪化の風評が出ている企業は後を絶たない状況である。本県には、建設業からの退職者の受け入れるだけの受け皿はなく、建設業の廃退は地域経済の廃退が懸念される場所である。
建設業	建築設計監理	宮崎	県の入札制度改革により最低価格が概ね60%台以上に設定されたが、低額のため設計技術、採算を無視した入札でなければ受注できない状況にあり、品質低下や協力業者へのしわ寄せが懸念されている。設計料率のアップ及び入札制度改革の見直しについて早急な検討をされるよう強く要望します。

建設業	家具製造 内装工事	宮崎	今年度早くも3社のゼネコンが破産、民事再生と法的手続きを取る中、まだ今からとの情報が出ている会社もありますが、巷では公共工事を落札したところほど内情が苦しくなっているのではないかと(あぶない)との話も聞えてきます。世間でのうわさ話ではありますが、発注する側としての考え方も一考する時期ではないでしょうか。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	地方においては、公共工事の受注でしか生き残れない。仮に民間工事を受注しても、回収不能となればどうしようもない。都会でマンション等の建設ラッシュでバブルの状況であった。それがはじけて地方に負担が来るのが困る。国が考えていたような景気の安定感はずな地方にはなかった。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	燃料高、物価高の社会情勢に見合った政策を実行していただきたい。
建設業	土木工事業	延岡	燃料、原材料の高騰で採算が悪化しており、今後の運営は予想がつかない。こんなときに経済政策を実行するのが行政の仕事だと思うが・・・3008
建設業	完工事	日向	県に対し入札制度の見直しと最低制限価格の見直し(価格を引き上げる)を強く望む。入札制度の改革も必要とは思いますが、今のままだと、建設業界だけでなく県全体の経済が低迷し、県の税収も減少。県の活力悪化となる。4076
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	行政の真剣な予防処置が無いと、物事が起きてから大金をつぎ込んで是非を行う現状から脱皮できないと思う5004
建設業	鉄骨建築業	高鍋	材料の安定供給、入札での最低価格の見直し5009
建設業	建設業	日南	入札制度の見直し(最低価格物価上昇のため)6022
建設業	土木工事一式	串間	1. 石油の高騰を産油国と協議調整をして欲しい。2. 入札制度の最低制限価格を90～95%にして欲しい。3. 設備投資を拡大するために長期低利の融資をお願いしたい。
卸売業	建築・木工・金物	都城	企業経営はよくも悪くも経営者次第とおもっています99%今後もがんばって生きたいとおもっています
卸売業	塗料販売	宮崎	原価価格対策
卸売業	建築資材販売	日向	当社は県北1円の土木業者との取引ですが、業者が入札が取れ(落札)ない為に、全く取引減少である。又、銀行との借入れ交渉が思う様にならない。過去と全然異なってきた。中小企業を援助してもらいたい。4085
小売業	呉服・宝石・寝具	宮崎	1. 景気対策、減税他景気刺激策の実施2. 石油製品、穀物等世界的な値上げを国として何とかして欲しい。諸悪の根源である。
小売業	ショッピングセンター	宮崎	中心市街地活性化エリアの拡大
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	中心市街地活性化として税金を投入しているが役に立たない無駄使いである。大企業にのせられている政治家がつまらない。経済の回復なくして国の発展はない。次の選挙では自民も民主も大幅に議員をへらすだろう。民主党の屁理屈は良く考え出すものだと思心している。アンケートを返送する気にもならない。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	早急な景気対策を。
小売業	総合小売業	宮崎	小麦など原材料の高騰及び原油高対策を政府に要請をお願い致します。
小売業	総合食品スーパー	日向	現在、県外大手企業による出店で地元の中小企業が苦境に追い込まれている。中小企業と大企業がバランスよく共存共栄してこそ国や町の発展はある。国や県・市等実のある中小企業育成に力を注いで欲しい。4003
小売業	百貨店	日南	人口を増やすため若者が働けるよう企業の誘致や環境作り、人が住みやすい、街の整備、観光を増やす、日南のアピール(海、運河、飴肥)6007
サービス業	運送業	都城	原油値上がりの抑制をお願いしたい高速道路通行料値下げをお願いしたい軽油税の値下げをお願いしたい
サービス業	ホテル業	都城	ホテル・旅館等の設備産業に対する長期低金利融資制度をお願いします。
サービス業	総合不動産業	宮崎	経済の安定を望む

サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	省エネ運転の実行、及び新たな新規路線の開拓や企画商品の販売拡大等により利用拡大に努めてまいります。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	とにかく、原油高をどうにかしてほしい。一企業ではどうにもならない。
サービス業	クリーニング業	延岡	原油価格上昇に伴い、燃料費、仕入材料とも、今年に入り1.5倍程度価格上昇。需要が低迷する中価格を上げるのも苦しいが、消費者に理解してもらい価格をあげるしかない3056
サービス業	飲食業	日向	燃料費、仕入価格の高騰が続き数字を圧迫すると同時に消費者の動きがにぶくなっているのが気になります。4052
サービス業	ホテル	日南	県知事がトップセールスにより、全国に宮崎を発信し続けていて、宮崎市内には経済効果が出ているようだが、日南市内まではあまり効果が出ていないようだ。各市町村の担当者もこの波に乗って観光客等の勧誘を行なってほしい。6024